みんぱくリポジトリ
国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnolo

「韓人録」の世界

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2009-04-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 朝倉, 敏夫 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15021/00001429

朝倉敏夫・岡田浩樹編『グローバル化と韓国社会――その内と外』
国立民族学博物館調査報告　69

「韓人録」の世界

朝倉　敏夫
国立民族学博物館民族文化研究部教授

はじめに

海外に居住する韓（朝鮮）民族は，600万人を超え，その居住地は日本，中国，中央アジア，サハリンといったユーラシア圏のみならず，アメリカ合衆国，カナダ，オーストラリア，ニュージーランド，そして中南米にまで広がっている。そうした海外コリアンが移民の地であるホスト社会において，どのように生活をしているかに私は関心を持ち，共同研究を行っている。これまでアメリカ合衆国，オーストラリア，中国で調査を行ったが，現在の研究条件のなかでは，いずれも短期間の調査しかできなかった。人類学の調査は長期間のフィールドワークによって支えられてきたが，短期間の調査において彼らの生活を調査するためにはどうしたらよいかを考えなければならない。そこで着目したのが「韓人録」であった。

「韓人録」とは，海外で生活する韓国系移民のための電話帳であり生活情報誌である。すなわち，ある一定地域における彼らの生活の便宜のために作られたものであり，彼らの生活にとって必要なことが記載されているとみることができる。

本稿では，これまで収集した「韓人録」の概要を紹介し，そこから海外に暮らす韓国人の生活をどのように見ることができるのか，海外コリアンの生活文化研究の手引きとしての「韓人録」の役割について検討してみようと思う。

1　ワシントンD.C.の事例

私がはじめて「韓人録」を目にしたのは，2000年11月から５ヶ月間，スミソニアン自然史博物館で「アメリカ合衆国における韓国文化とその表象に関する人類学的研究」を行うためにワシントンD.C.に滞在した時である。

合衆国への韓国人移民の歴史は，1903年のハワイ移民に始まるが，その後の本土への移民は三期に分けられる。第一期は1945年から65年までの留学・国際結婚・養子縁組などによる移民，第二期は65年の新移民法による招請移民と専門技術職移民，第三期は76年の改正移民法による招請移民の増加である。人生の成功を夢みて，現在も「早期留学」，「頭脳流出」といった問題が韓国国内で提起されるほど合衆国への移民は増加しており，1999年現在，およそ205万人の韓国人が居住し，ロスアンジェルス，ニューヨーク，シ

14朝倉.indd　223　2007/04/18　8:53:58

カゴなどには大きなコリアンタウンが形成されている。彼らの多くは，教育レベルが極めて高いが，本国で身につけた教育・技術を合衆国で発揮することができず，語学のハンディを背負っている上，就職差別を受けている。そのため得られる仕事が限られ，スモールビジネスの世界に追い立てられるが，彼らは次世代，すなわち子どもたちには高い教育を受けさせ，メインストリーム（上流社会）に入るようにと，持ち前の勤勉さで長時間労働に耐えている。

ワシントンD.C.でも，青果市場のフロリダマーケットやコンビニ，理髪店，洗濯屋など，長時間労働を要する職場で働く韓国人が多い。東南部の黒人居住区にも韓国人のコンビニがある。私は，バージニア州のアパートに住んだが，その一階にはコンビニと洗濯屋があり，その主人は韓国人であった。隣のアパートのコンビニ，床屋，最寄りの地下鉄駅のコンビニ，デリカテッセン，日本料理店も韓国人の経営であった。

ワシントンD.C.には，隣接するバージニア州，メリーランド州と合わせて，約10万人の韓国人が住んでいる。この地域には地下鉄の路線網が張り巡らされており，その周縁部の駅をつなぐ環状道路に韓国人経営の大型スーパーマーケットが点在している。また，この環状道路に沿ったバージニア州北部のアナンデールには，コリアンタウンが形成されている（図１）。こうした韓国人経営のスーパーやコリアンタウンには，韓国語で書かれた新聞とともに「韓人録」が置かれている。ここでは，そこで入手した二つの「韓人録」を紹介してみよう。

図1　ワシントンD.C.の地下鉄マップ

14朝倉.indd　224　　2007/04/18　8:53:59

A.『ワシントン韓人録2000』(The Korean Directory of Great Washington Area and Baltimore)(写真1－右)

a.サイズ：縦 252mm，横 178mm，厚さ 41mm，総頁数 736頁

b.発行：ジャイアント出版社

c.目次

・機関，団体および教会名簿

機関および団体（9－14頁)：官公署，韓人会，奉仕機関，文化団体，実業人団体，一般団体，郷友会，体育団体，宗教団体，神学校

韓人会は，「ワシントン地区韓人連合会」「北バージニア韓人会」「首都圏メリーランド韓国会」「メリーランド韓人会」の4団体が記載されている。

実業人団体には「洗濯協会」「食品協会」「酒類協会」「美容材料協会」「薬師総連合会」「韓方医療院協会」「ビデオ協会」「建築家協会」「花屋協会」「旅行社協会」「自動車技術人協会」などがあり，これらの業界に韓国人が多く進出していることが分かる。

郷友会は,「江原」「ソウル」「嶺南」「忠清」「湖南」「済州」といった韓国ばかりでなく,「咸鏡」「平安」「黄海」といった北朝鮮などの出身地域の地縁によって結ばれる団体が掲載されている。合衆国への初期の移民のなかには，朝鮮戦争において南下した北朝鮮出身者が多いという。

・教会名簿（15－28頁，29－43頁)：教会，天主教会，その他教会，祈祷院，寺刹

ここで教会とはプロテスタント，天主教会はカソリックを指す。教会数としてはプロテスタントが圧倒的に多い。教会では，アメリカに渡った移民が真っ先に困る英語の学習と仕事の斡旋が行われるという。

・業所住所録および広告（Yellow Pages)（45－502頁)：カナタラ順に業種別（広告を含む）に店舗が掲載されている。業種名は以下のようである。

家具および家具修理，看板，健康製品，建築設計，建築屋根，建築および建築修理，結婚相談および幣帛・礼服，古物商，広告代行およびデザイン，花屋，金銭登録機，ナイトクラブ，冷凍暖房，カラオケ（ノレバン)，農場，丹田呼吸，ビリヤード（撞球場)，餅屋，盗難防止，マンガ屋（漫画房)，メイリングサービス，銭湯（沐浴湯)，墓地および葬儀社，美容成形，美容室，放送，翻訳・通訳および代書，弁護士，病院（内科・消化器内科・腎臓内科・心臓内科・麻酔科・放射線科・泌尿器科・皮膚科・産婦人科・小児科・眼科・外科・神経外科・整形外科・成形外科・耳鼻咽喉科・精神科・脊髄神経科・物理再活･物理治療･歯科･漢方)，宝石商，補聴器，ボート，保険，不動産，不動産鑑定，ビデオ貸与，ビデオ撮影，事務機器，写真，書店，贈り物センター，洗濯装備・修理，スクリーンプリント，食堂，食品卸，食品店，新聞（日刊・週刊)，室内装飾，眼鏡店，薬局，養老院，洋服店，洋装，旅行社，鍵･金庫，運送，運転学校，ガラス店，融資，ウェディングドレス，銀行，衣裳室，移民，理髪，印刷所，自動車整備・ガラス・販売，雑

14朝倉.indd 225 2007/04/18 8:53:59

貨卸，手袋，装備（洗濯・食堂），葬儀社，電気工事，電話，浄水器，庭園管理および修理，精肉店，製菓，証券・投資，指圧院・湿布，鉄工所，清掃，体育館，カレンダー，カーペット，コンピュータ，クレジットカード，タクシー・リムジン，トロフィー，特許，ペイント，表具店，配管業，フロアー，ピアノ・ピアノ調律，ハードウェア，学院，韓服，ホテル，航空社，化粧品，会計（公認会計・一般会計）

韓国にある業種のないものはないと言っても過言でないだろう。

・個人名簿（White Pages）（503－698頁）

・生活案内（699－734頁）

愛国歌，米国国歌，市民権予想問題集，メリーランド交通法規筆記試験問題（総合），ワシントン地域主要ショッピングセンター，ワシントン地域病院，ワシントン地域ゴルフ場，ワシントン地域電鉄路線，ワシントン地域地図，医療英語ハングル翻訳，度量衡換算表，韓国への国際電話

生活案内からは，市民権と運転免許の取得，病気に対する対処の仕方が彼らの必要かつ最大関心事であることがうかがえる。

・広告

広告主には，韓国人弁護士のみならず韓国人通訳のいるアメリカ人弁護士事務所が多く掲載されている。移民法，交通事故をはじめ，移民者にとっては合衆国での生活で弁護士に依存することが多いことがわかる。

この「韓人録」の出版社の広告文に「Since 1979 韓人録は20年間僑胞社会とともに成長してきたワシントンとボルチモア地域を含む伝統のある韓人社会の道しるべです」とある。

写真1　左『ワシントン韓国日報業所録2001』，右『ワシントン韓人録2000』

14朝倉.indd　226　　2007/04/18　8:54:00

B.『ワシントン韓国日報業所録2001』(The Korea Times Washington Korean Business Directory)(写真１－左)
a.サイズ：縦 256mm，横 187mm，厚さ 25mm，総頁数 530頁
b.発行：ワシントン韓国日報
c.目次
・公共機関／団体（１－13頁)：公共機関，韓人会，奉仕機関，郷友会，一般団体，実業団体，医療団体，文化・芸術団体，体育団体，郷軍団体，教育団体，ハングル学校／ワシントン地域，ハングル学校／ボルチモア地域，神学大学，仏教大学・韓医大学
・宗教団体（13－44頁)：宗教団体，教会／バージニア地域，教会／メリーランド地域，教会／ボルチモア地域，教会／リッチモンド地域，教会／その他の地域，祈祷院，天主教，聖公会，仏教，その他宗教
・業所住所録および広告（Yellow Page)（44－486頁)：カナタラ順に業種別，広告を含む。
A. の「韓人録」に掲載されていた業種以外に掲載されている業種をあげると，健康製品の代わりに健康補助器具，健康食品が入り，ビリヤード（撞球場）に棋院が加わる。さらに，釣り，縫製，消毒，消防装備，楽器，オンドル，質屋（典當鋪)，カフェ，探偵，テッコンド，画廊・額縁などが加わっている。
・付録（487－522頁)：韓国日報支社案内，領事館民願業務案内，申請書様式（旅券発給申請書，査証発給申請書，身元確認書，国外旅行期間延長許可願書，在学事実確認書，兵役免除願書，永住権取得および家族居住事実確認書，在外国民登録簿，旅券再発給事由書，旅行者証明書T/C発給申請書，委任状)，市民権筆記試験予想問題，メリーランド州交通法規筆記試験問題，メトロ案内，米州各州別略字表記，米国内電話地域番号，主要ウェブサイト，世界各国電話コード／時間差表，メーター法および度量衡換算
・業所クーポン（523－529頁)

2 ロスアンジェルスの事例

私はワシントン滞在中の2001年２月と科研調査のため2004年４月に，いずれも数日間，ロスアンジェルスのコリアンタウンを訪れた。ロスアンジェルスのコリアタウンといえば，1992年の黒人暴動で，韓国人の店が多く襲われたことが報道され，日本でもその存在が知られるようになったが，その直後に取材して書かれた『アメリカ・コリアンタウン』によれば，「在米韓国人は1970年代に入って急速に増加し，とくにロスアンジェルスでは爆発的な膨張が起こった。コリアンタウンが公式の名称として認められたのは81年１月からである。当時，コリアンタウン繁栄会が市に対して『韓国人集中地帯をコリアンタウンとして認定してほしい』と強力に要請した。市議会は東西を走るオリンピック通りと８ストリートを中心に，東のバーモント通りから西のウェスタン通りにいたる

14朝倉.indd 227 2007/04/18 8:54:00

東西約１キロ，南北約0.5キロの一帯をコリアンタウンと指定した。ところがコリアンタウンはその後も飛躍的な拡大をつづけ，いまや東西に約２キロ，南北に約４キロ近いあたりまで韓国人の焦点が拡散している」［高賛侑1993:13］とある。

そして，その風景を「コリアンタウンにさしかかると，思わず目をみはった。六車線の広い道路をはさんだ両側にはズラリと店舗が軒をつらね，ハングルの看板が無数に掲げられているのだ。飲食店，衣料品店，美容院，書店，薬局，レンタルビデオショップ…つまり一般社会に必要なありとあらゆる業種の商店が林立し，しかもほとんどの店舗は韓国人が経営している。中には比較的大きな韓国系銀行や医院，スーパーマーケット，会社のビルなどもみうけられるが大半は一,二階建ての小規模経営である」［高賛侑1993:13］と描写している。

コリアンタウンを訪れての私の第一印象は，韓国の地方都市に来たような気分であった。ただ，コリアンタウンにある店は韓国人経営であるものの，従業員はラティーノが多く，韓国人の居住地は「成功」の証として白人が居住するロスアンジェルスの郊外やオレンジ・カウンティなどに移っている。高賛侑によれば，オレンジ・カウンティの中心部をなすガーデングローブ市に韓国人商店街が本格的に形成されたのは，「1979年以降である。当時カウンティの韓国人の人口は１万１千余人で，店舗としては歯科医，不動産，食堂，保険会社などが200ほど存在するていどにすぎなかった。（略）1981年，商工会議所の主催のもと，『第１回韓国の日』と銘打ってパレードをはじめ多彩なイベントが行われた。狙いは見事に的中した。韓人祝祭と名称を変えた第二回が83年に行われた頃には，ガーデングローブの韓国人店舗は以前の80から480に急増していた。（略）こうして現在では韓国人商店店は1,600ヶ所に達し，中でも目抜き通り近辺には600以上が集中することになった。しかも商店街の建物のうち半数近くが韓国人所有であり，名実ともにコリアンタウンとなりつつあることをしめしている」［高賛侑1993:178−99］。

私がロスアンジェルスのコリアンタウンで宿泊した韓国人経営のホテルで入手した「韓人録」には，こうしたロスアンジェルス，オレンジ・カウンティのコリアンタウンを含む地域が掲載されている。

A.『韓国人イエローページ2000〜2001』（Korean Yellow Pages Los Angeles･Orange･San Bernardino･Riverside･San Diego）（写真２－左）

a.サイズ：縦 260mm，横 210mm，厚さ 40mm，総頁数 1323頁

b.発行：INFOKOREA,USA

c.目次

・公共機関／団体（21－28頁）：公共機関，奉仕機関，一般団体

・宗教団体（28－46頁）：宗教団体（教会）・宗教団体（宣教会，神学校，祈祷院，天主教，聖公会，仏教寺院，円仏教），同窓会（大学校，中高等学校，その他）

14朝倉.indd 228 2007/04/18 8:54:00

ワシントンの「韓人録」にはないが，ここには「同窓会」という項目がある。大学，中高等学校ばかりでなく，その他には小学校の同窓会が二件掲載されている。韓国社会における学縁が，移民社会でさらに強化されているようである。

・業所住所録および広告（Yellow Pages）（47－1,178頁）：カナタラ順に業種別，広告を含む。そのうち，弁護士（260－342頁），病院（343－442頁），歯科付録（410－417），保険・保険付録（443－489頁），運送・運送付録（762－809頁），韓医院（1,134－1,178頁）は項目が立てられている。

これらの広告は，「在米コリアンの成功を物語る事実については専門職分野への進出もあげられる。1990年代初めの推定資料によれば，医師が約5,000人，教授および科学者が約2,000人，弁護士が約300人，公認会計士が約150人にのぼる」［朴三石2002:61］という記述と付合してくる。

・付録

生活（1,182−1,212頁）：ビザ（査証），総領事館民願業務案内，移民，電話，ソウル地下鉄路線，時差，度量衡，空港，工場・卸売り商街

医療（1,213−1,222頁）：応急処置，知らねばならぬ医療用語，韓米対訳ミニ辞典・一般的な症状・病名，薬，人体各部名称，予防接種，

教育（1,223−1,229頁）：米国の教育制度，学群，コミュニティカレッジ，4年制大学，大学試験，奨学金

飲食（1,231−1,248頁）：レストランマナー，LAの有名レストラン，ファミリーレストラン，カジュアルディナーレストラン，食品名ミニ辞典

自動車（1,249−1,257頁）：運転免許とDMV（車両管理局），DMV（車両管理局）オフィスリスト，道路標示板，交通違反と罰金

レジャー（1,259−1,289頁）：LA年間行事カレンダー，プロスポーツ情報，ドジャース競技スケジュール，劇場・公演場，美術館，幼稚園，子どものための場所，南加州キャンプ場リスト，ラスベガス

ゴルフ（1,291−1,320頁）：ゴルフ場地域地図，アルファベットゴルフコース案内，都市別ゴルフコース案内，ゴルフ場案内地図

地図（1,322−1,323頁）

ラジオコリア週刊編成表

この付録にこそ，合衆国に移民した韓国人の生活にとっての必要事項のキーワードがある。「医療」「教育」「自動車」「ゴルフ」である。自動車とゴルフについては，「合衆国に移民した韓国人があこがれるのが，家を買うこと，自動車を購入すること，ゴルフを学ぶことだとされる。家と車は経済的な安定を示すものであり，ゴルフは合衆国での生活をエンジョイするということを象徴するものとしてみられている」［李光奎1989:220］。

14朝倉.indd 229 2007/04/18 8:54:00

写真2　左『韓国人イエローページ2000～2001』（ロスアンジェルス），
右『電話番号を捜します』（ハワイ）

3 ハワイの事例

韓国人のアメリカ移民は，1903年のハワイ移民に始まり，2003年はアメリカ移民100周年を迎え，それを記念する行事が開かれた。ハワイでの韓国人の歴史については，原尻の言を引用しよう。「コリアン・アメリカンの歴史がアメリカや韓国で語られるとき，最初に出てくるのが朝鮮王朝末期（大韓帝国期）にハワイに向かったプランテーション農業労働者である。その次には，朝鮮半島が日本に植民地支配されていたときに，李承晩の同志会，それに反李承晩の国民会が立場を異にしながら，日本からの独立運動をここハワイで展開していく話になっていく。確かに，農業労働者の二世，三世も一部住んでいるし，同志会の教会（長老派），国民会の教会（メソジスト派）も現存する。しかし，現在ハワイに居住し，自らを韓国人だと思っている人の大半は，日本の敗戦後か，あるいは朝鮮半島において大韓民国が樹立されてから移民してきた人々あるいはその子孫である」[原尻2000:23]。「ハワイのコリアン地図が大幅に書き換えられるのは，1965年以後，韓国からの移民が急増してからである。それまで，コリアンという言葉が聞かれることさえあまりなかったが，コリアンバーの拡大によって，日常的に聞かれる言葉にかわっていった。しかしながら，その頃から，コリアンタウンがつくられたかといえば，そうではなかった」[原尻2000:33]

私は2003年８月に約１週間ホノルルを訪れ，街にみられるハングルの看板を探して歩いた。しかし，日系人と比べると韓国系の数はずっと少なく思えた。また，ホノルルにはハングルで書かれた看板が多くみられる通りはあるが，コリアンタウンというほどの規模ではなかった。しかし，領事館を訪れると，そこには「韓人録」が置かれていた。

14朝倉.indd　230　　2007/04/18　8:54:00

A.『電話番号を捜します――中央韓人業所録2003～2004』(Korean Yellow Pages of Hawaii)(写真２－右)
aサイズ：縦 259m，横 187mm，厚さ 24mm，総頁数 612頁
b.発行：中央日報
c.目次
オアフ（ホノルル）
・公共機関および社会団体（30－36頁）：公共機関，各界社会団体，公共機関（ゴルフクラブ），公共機関（老人会），同窓会，韓国人が勤務する機関，ハングル学校，
・業所住所録および広告（Yellow Pages）(37－421頁)：カナタラ順に業種別，広告を含む。
　さらに，マウイ（423－426頁），ビッグ・アイランド（427－429頁），アメリカン・サモア（430－432頁）が掲載されている。
　ハワイにおいてワシントンやロスアンジェルスと異なるのは，教会・聖堂が特記されず，業所住所録の中の一項目として扱われていることである。
・生活情報（433－527頁)：ビジネス常識，国際電話使用案内，知らねばならぬ「移民法」，生活法律常識，領事館民願業務，社会福祉プログラム利用法，運転免許試験問題，自動車情報，ハワイ島観光案内，ハワイ州概要，ハワイ移住者のための生活情報，その他常識，
・知っておくとよい電話番号（529－607頁）：ホノルル市主要電話番号案内，老人のための各種プログラム電話番号，ハワイ州全域病院案内，学校案内（オアフ），大学総覧，ハワイ島公共図書館，託児所およびデイケアセンター，体育およびヘルスセンター案内，ゴルフコース案内，ボーリング場，劇場，空港・航空社・レンタカー，隣島のレンタカー，ハワイのホテル，ハワイの新聞および放送社，展示場案内，ハワイの各社会団体
　ハワイでの特色の一つに，公共機関の中で「老人会」が別枠として掲載されているばかりでなく，知っておくとよい電話番号に，「老人のための各種プログラム」，「デイケアセンター」が上げられている点がある。

4 シドニーの事例

　韓国人のオーストラリアへの移民は1970年代に始まる。1973年にオーストラリアの白豪主義が廃止され，少数の専門技術者が移民し，1974年からベトナムに派遣された技術者500名がビザ簡素化政策により観光ビザで大挙入国し，その大部分は1976年に永住権が授与され，家族の招請が可能になった。そこにはベトナム戦争が終わり，オーストラリアの経済が活性化し，労働力が不足したため，ビザ要件を緩和したという背景がある。それ以後，南アメリカに移民した人の一部，イラン，イラク，サウディアラビアなど中東に就業した技術者などが移民し，1980年代には，彼らが家族を招請するとともに，養子，就業などで移民が増加した。そして，1989年にオーストラリアが事業移民，投資移民を

14朝倉.indd 231 2007/04/18 8:54:00

受け入れるようになり，1990年の前半までは毎年1,000名以上が移民してきた。その後，オーストラリアの移民抑制政策と韓国経済の相対的上昇により一年あたりの移民者数は減少しているが，近年は英語教育のために留学する若年層の移民が増加している。［河炳旭2001:205−210，韓敬九1996:213−251］

現在，オーストラリアの韓国人移民は約７万人といわれ，その大部分はシドニーを含むニューサウスウェールズ州に居住している。シドニーから西に向かう電車のいくつかの駅の周辺はコリアンタウン化しており，シドニー市内のチャイナタウンにも韓国人経営の店がかなり進出してきている。私は2005年１月に約２週間シドニーに滞在し，韓人会において『2004豪州シドニー韓人電話簿』を，韓国人の経営する食堂で『韓人ビジネス電話簿』を入手した。

A.『2004シドニー韓人電話簿』（The 2004 Korean Yellow･White Pages of Sydney, Australia）通巻第13号（写真３－左）

a.サイズ：縦 280mm，横 205mm，厚さ 13mm，総頁数 222頁

b.発行：豪州シドニー韓人会，発行日 :2004年１月１日

c.内容（総目次）

・挨拶，太極旗・愛国歌，豪州国旗・国歌，僑民の歌，韓人会あれこれ（写真），

・生活電話案内，主要韓人機関，僑民団体，僑民言論，韓国支社，

・業所住所録および広告（Yellow Pages）（47−1,178頁）

　カナタラ順に業種別　広告を含む

　韓人会館全景および会館利用案内

・個人住所録（White Pages）

・CityRail Network

・生活情報：非常時緊急電話／有用な電話サービス，センターリンク／年金と手当，国際電話国歌番号案内，韓国長距離電話地域番号案内，生活に有用な豪州インターネットサイト，生活に有用な在豪韓国インターネットサイト，NWS韓人密集地域カウンセルサービス電話番号，移民者関連業務問い合わせ電話，豪州移民およびビザに関する情報，無料法律相談業務，豪州市民権申請方法，豪州内での投票方法，自動車運転に関する案内，豪州結婚文化案内，豪州葬礼文化案内，豪州教育制度，豪州留学案内，豪州での銀行利用方法および留意事項，不動産売買および賃貸に関する情報，豪州医療制度，医療用語ハングル翻訳，ゴルフ常識とシドニー有名ゴルフ場案内，シドニー近郊ゴルフ場案内，在外同胞の出入国と法的地位に関する法律解釈，駐シドニー総領事館民願業務案内，各州の僑民団体案内，シドニー韓人会業務案内，24代シドニー韓人会任員名簿

各州の僑民団体には，南部豪州韓人会，ビクトリア韓人会，西部豪州韓人会，キャンベラ韓人会，クィーンズランド韓人会，タスマニア韓人会が載せられている。

14朝倉.indd　232　　2007/04/18　8:54:01

・編集後記

「今年も僑民経済が難しく苦しいにもかかわらず韓人会から毎年発刊される韓人電話簿に対し愛情と関心をお寄せ下さる僑民社会各団体長と各業社社長に深い尊敬と感謝の言葉をささげます。豪州シドニー韓人電話番号簿は故チョウミング前韓人会長が私財を投じ韓人会運営資金を用意するための画期的な事業として始まり，現在発刊通巻13号を迎え韓人会の主収入源になっています。後略」

この豪州シドニー韓人会による「韓人録」は，その2000年版によれば，「毎年発刊してきた『シドニー韓人住所録』（ムジゲ印刷所），『韓人電話番号簿』（韓国印刷社），新たに発刊を企画した『韓人ダイアリー』（ＭＢＣ企画）から，僑民の和合と韓人会の発展のための忠情の心で1990年に献納され，韓人会で単行本として発刊するようになった」という。

写真3　左『2000シドニー韓人電話簿』，右『韓人ビジネス電話簿』

B. 豪州東亜日報姉妹誌『韓人ビジネス電話簿』（Korean Business Directory）Vol.1,2004年11月　（写真３－右）

a.サイズ：縦 247mm，横 176mm，厚さ２mm，総頁数 31頁

b.発行：月刊，発行時期：毎月末，発行部数：10,000部，配布所：食品店および主要業所

c.目次

・創刊の辞

「豪州韓人の皆さまに告げます」と題し，「毎週末にあふれ出る新聞と雑誌から情報の洪水という言葉を実感するが，無料ということで貴重で有限な韓人コミュニティ次元の浪費という点については看過されている」と書かれている。

14朝倉.indd　233　2007/04/18　8:54:01

・主要韓人機関, 豪州社会施設, 応急電話／病院, 電話利用案内, 韓人団体, 韓人新聞（日刊），韓人新聞（週刊），週刊／月刊雑誌，韓人放送，同門会，その他問い合わせ，韓国支社
・業種別　カナタラ順
　キムチ，農場，脊椎病院，羊毛，清掃用役がそれぞれ項目としてあげられているのが目につく。
・韓人密集地域案内：ストラスフィールド（Strathfield），イーストウッド（Eastwood），ケンプシー（Campsie）
・クーポン
・CityRail network
・健康とクッキング（Health&Cooking）
・家計簿
・11月カレンダー

5 中国の事例

朝鮮半島から中国への移住は1860年頃から始まり，現在，約200万人の中国朝鮮族がいる。その分布は東北地区（旧満州）に集中し，なかでも吉林省に約120万人が居住し，吉林省南部の延辺朝鮮族自治省に約80万人が集中している。このほか黒竜江省に約45万人，遼寧省に約25万人が分布し，これら東北三省の首府には朝鮮族の学校や放送局，新聞社，出版社などが設置されて，朝鮮語の普及を行っている。

これらの朝鮮族は農村で集住村を形成していたが，改革開放経済の導入，1992年の韓中国交回復以後，都市への移住，韓国をはじめとする海外への出稼ぎ労働が拡大し，急速に拡散・流動化している。また，近年，北京，青島などへの韓国企業進出に伴い，現地に移住・定着した新在中韓国人（韓人）がコミュニティを形成しつつある。そこで2005年の夏に約2週間，中国朝鮮族の住む農村の変化と新在中韓国人の集住する都市部で現状を把握するため，牡丹江，ハルピン，瀋陽，北京，天津を回ってきた。

(1) 瀋陽

瀋陽には1995年と1996年に訪れたことがある。当時，1995年にソウルから瀋陽への直行便が開設され，その間に中国朝鮮族の集住地であった西塔のレストランの看板が「朝鮮料理」から「韓国料理」に替わったのではないかと思えるほど，急激に韓国の消費文化が押し寄せたことを覚えている。しかし, その時は関心をもっていなかったせいか,「韓人録」を目にすることはなかった。今回，久しぶりに西塔を訪れると，『ミンドゥルレ』(縦 260mm 横 185mm 厚さ 6 mm)（写真 4 －左）という生活情報誌がすぐに入手できた。この雑誌は，瀋陽最初の経済生活情報誌とあり，瀋陽に本社，大連に支社があり，瀋陽

14朝倉.indd　234　　2007/04/18　8:54:01

と大連の業種別の電話番号案内が掲載されている。2004年７月が通巻85号とあり，月刊誌であるとすれば，1997年７月に刊行されたことになる。

全77頁からなる雑誌のうち，瀋陽，大連の業種別電話番号案内は，それぞれ６頁，３頁しかなく，いずれもノレ房（カラオケ），食堂，民泊，ホテルなど，サービス業が主体である。

この雑誌で韓人会が北駅近くにあることを知り行くが，当日が土曜日の午後であり，韓人会には職員が一人いるだけであった。インタビューはほとんどできなかったが，『韓国人消息』（Korean Society in ShenYang）の2005年３月号と，中国韓国商会『2005年中国韓国商会会員名録』を入手した。前者は在瀋陽韓国人会が5,000部発行している雑誌であり，インターネットのアドレスがある。それを検索すると1992年７月に瀋陽韓国投資企業協議会という名称で始まったとある。後者は，2005年３月現在，34地域に韓国商会が設立運営されており，全体地域紹介に加入した会員社は総3,700余社に達しているとある。

写真4　左『ミンドゥルレ』（瀋陽），右『ハンマウル』（北京）

（2）北京

北京空港から北京市内に向かう高速道路を囲む木立の切れ間に巨大ビル群が見えてくる。ここは朝陽区の望京地区で，このうち「望京西園」は，韓国からのビジネスマン，留学生など韓国人が約５万人，そして韓国人経営の企業の従業員や家政婦，運転手など彼らの生活を支える職業につくために中国各地から上京してきた朝鮮族を合わせると約７万人が住むといわれ，「韓国城（コリアンタウン）」を形成している。

この街で生活情報『ハンマウル』第459号（2005年９月３日～９月９日）（写真４－

14朝倉.indd　235　　2007/04/18　8:54:01

右）と広告雑誌『korean』no.248（2005年９月４日）を入手した。前者は，縦 285mm 横 206mm 厚さ７mmの週刊誌のような装丁で，表紙には「韓国人が作った中国最初の生活情報誌」「本冊子は円滑な中・韓交流のため韓国華僑学校同門会から発行される無料生活情報です」とある。後者は縦 285mm 横 209mm 厚さ７mmの航空会社の機内誌のような装丁で，本文96頁に加え，カラーページの広告がふんだんに掲載されている。

『ハンマウル』には，望京以外に，亜運村，大山子，五道口，燕莎と，韓国人密集地域の地図が掲載されており，本文112頁のうち11頁に北京市内にある主要韓人機関，国家機関・団体，韓国支社，投資企業，公共および支援機関，金融機関，韓国受信者負担電話，緊急電話，案内電話，航空社，ホテルにつづいて，各種業種別（カナタラ順）に電話番号が掲載されている。この電話番号の中で特記すべきは，食堂・レストランにつづいて，宿泊・民泊という項目に多くの電話番号が掲載されていることであろう。

インターネット情報によると「北京の民宿は開業当初から国家の認可を受けられなかった家庭旅館形態であり，10年余り前に朝鮮族が開拓した市場だ。 彼らのサービス対象は主に北京へ来て韓国行などの出国ビザ手続きをする朝鮮族たちだった。ところが2002年，国際結婚や韓国訪問などのビザ取り扱いが，北京から瀋陽領事館へ移り，北京へビザ手続きをしに来る人が消えた途端，あれほど膨れ上がった民宿は急に萎縮しはじめ，多くの経営者がやむを得ず民宿業をあきらめたり，他の業種に転向した。しかしやがて韓国人の大挙進出と共に，民宿業はまたしても興起し始め，現在ではある韓国業者が作った‘韓国企業電話番号簿’（2005年３月１日出刊）に上がった民宿だけでも83軒になる。実は電話番号簿に上がらない民宿も少なくなく，その後新たにできた民宿も多いので，実際数はその数をずっと上回る」（黒龍江新聞　リ・チャンス記者　2005年６月10日）とある。

この街にある事務室で，在中国韓国人会の事務総長Ｃ氏にインタビューをした。当日は忙しいとのことでゆっくりと話を聞けなかったが，後日，『中国韓人会報』の創刊号（2003年９月25日）から10号（2005年７月25日）までを郵送してくれた。その２号（2004年１月20日）によると，1998年10月24日に発起人総会が開かれた「在中国韓人会」と1999年８月12日に準備委員会を発足した「在中国韓国人会」が2000年６月１日に統合されたのが，現在の「在中国韓国人会」であるとある。また，８号（2005年２月22日）には，「北京，天津，瀋陽，長春，鞍山，威海，昆明，丹東，大連，牡丹江，撫順，ハルピンの支部の名簿」が掲載されている。

この時，事務総長は「韓人録」について言及されなかったが，９号（2005年５月14日）に「在中国韓国人業体電話番号簿の発刊」という記事がある。後日，これについても知人を通して入手するつもりでいる。

14朝倉.indd　236　2007/04/18　8:54:01

(3) 天津

天津では韓国系銀行支店長で中国朝鮮族のＰ氏の自宅で『広場』94号（2005年９月号）（写真５－右）と『青枝』３号（2005年８月号）（写真５－左）を入手した。前者は276頁，縦 285mm 横 208mm 厚さ 16mmで，後者は115頁，縦 280mm 横 208mm 厚さ７mmの全カラーページである。

『広場』の表紙には中国語で「天津多芸広告」と併記されており，その理由を「中国政府不法外国語刊行物強力取り締まり」の状況にあって「中国語共用使用で広告効果極大化」にあると目次の前に断り書きしてある。

『青枝』の電話番号簿によると，この２誌のほかに天津には『企業消息』『東北ジャーナル』『未来エコノミー』『蚤の市』『日曜新聞』『天津トゥデー』『フォーカス』といった月刊誌，週刊誌がある。

写真5　左『青技』（天津），右『広場』（天津）

おわりに：海外コリアン研究に向けて

以上，アメリカ合衆国のワシントンD.C.，ロスアンジェルス，ハワイ，オーストラリアのシドニー，中国の北京，瀋陽，天津において収集した「韓人録」の概要を示した。では，この「韓人録」から海外コリアンの生活について，何が分かるのかを考察し，今後の研究への目途を示しておこう。

(1)「韓人録」から知りうること

a. 生活情報誌である「韓人録」には，移民した者がホスト社会で生活するにあたって

14朝倉.indd 237 2007/04/18 8:54:02

必要な情報が掲載されている。また，広告も移民者が必要とする業種からのものが掲載されることが多い。これらの内容から，例えば合衆国においては「市民権の獲得」「医療」「教育」「自動車」「ゴルフ」などが移民者にとって必要な情報であることが分かる。

b. 電話番号簿の分類

電話番号簿は業種別に分類されている。業種の項目，およびそれぞれの項目に掲載される店の数を調べることによって，移民者がホスト社会において，どのような業種に従事しているかを知ることができる。

また，それぞれの業種に注目すれば，その業種における性格も見えてくる。私はワシントンD.C.の「韓人録」に掲載された料理店に注目した［朝倉2002］。例えば，料理店の店名からは，料理店137店のうち，韓国料理店が89店，日本料理店が31店，中華料理店13店，ベトナム料理店が 4 店であり，韓国人が経営する店は，韓国料理ばかりでなく，日本料理が存外多いことがわかった。

c. 電話番号簿の地名

電話番号簿には地名が記載されている。これらの地名により地図に分布を示せば，生活地域を特定することができる。逆にコリアンタウンがある場合，その地名に限定して業種を選別すれば，コリアンタウンにおける業種の分布を知ることができる。

今後，携帯電話の普及により，場所の特定が不可能になることも予想されるが，現在のところは，まだ有効である。

(2) 地域的比較

本稿ではアメリカ合衆国，オーストラリア，中国の「韓人録」を紹介したが，世界各地の「韓人録」を収集し比較することによって，韓国出身の移民がホスト社会においてどのような生活をしているかを比較するための基礎資料となる。

a. 差異点と共通点

この基礎資料から，その差異点を抽出すれば，ホスト社会における違いを見ることができよう。例えば，アメリカ合衆国は洗濯業が多く，オーストラリアは清掃業が多いといった職業選択に関する情報があるが，これらを検証してみることもできよう。

また，その共通点を抽出すれば，移民の出身国である韓国社会の性格を分析することもできよう。

b.「韓人録」の有無

世界各地の朝鮮半島出身者の移住先のすべてに，「韓人録」があるわけではない。中国においても牡丹江，ハルピンでは「韓人録」が見つからなかった。ここには朝鮮半島出身の移民が多く居住しているが，その多くは戦前の移民であり，戦後に韓国から移民した者はまだ多くない。ハルピンには近年「コリアンタウン」が生まれたが，その規模は小さい。

14朝倉.indd 238 2007/04/18 8:54:02

電話番号簿を主内容とする「韓人録」の成立は，電話の普及と連関しており，電話がそれほど普及していなかった戦前には存在する理由もなかった。また，「韓人録」と記されるように，それは戦後に大韓民国が成立した後に海外に移住したいわゆる「韓人」にとっての生活情報誌といえよう。「韓人録」は，「韓人会」，「コリアンタウン」の成立とも関わっており，これらを研究する上でも有効な資料となるだろう。

日本においても2005年３月１日付で『日本韓国電話番号簿』が刊行された。これは発行地が東京都新宿区となっているように新宿に形成されたコリアタウンに所在する店舗などが主に掲載されているが，タイトルに「日本」とあるように全国の民団をはじめ東京以外に所在する店舗も掲載され，６ヶ月毎に刊行されるようである。

(3) 年代的比較

本稿では，同一地域におけるある年次の「韓人録」のみを紹介したが，これを通年的に検証することで，その地域における彼らの生活の変遷・推移をみることができる。

私はかつて東京の韓国料理店とソウルの日本料理店について，電話番号簿を資料として，店舗数の推移，地域的分布，店の継続性などを分析したが［朝倉1994］，「韓人録」を年代的に比較することによって，さまざまな業種の推移と現況を分析することができる。

現在のところロスアンジェルスに「韓人録」の創刊号から最新号までを所有している人がいるという情報を得ている。今後，この資料を閲覧させてもらい分析することを計画している。

海外における韓国系移民の生活についての研究にとっては，「韓人会」の会報やスーパーなどで得られる地域の韓国語新聞など大きな文字資料となろう。しかし，「韓人録」は数量的な把握を可能にしてくれるという特色をもつ。その意味で，「韓人録」はフィールドワークをする前にガイドラインを示唆してくれるとともに，フィールドワークでの聞き取りを数量的に実証する資料でもある。これを有効に活用することによって，海外コリアンを研究する私たちはフィールドワークをより意味のあるものにしていかなければならない。

文　献

朝倉敏夫
1994 『日本の焼肉　韓国の刺身』農文協。
2002 「ワシントンD.C.の韓国人料理店」『民博通信』96，pp.69−72。

14朝倉.indd　239　2007/04/18　8:54:02

河炳旭
　2001　『第四の選択　韓国系日本人――世界六百万韓民族の生きざまと国籍』文芸社。
原尻英樹
　2000　『コリアンタウンの民族誌――ハワイ・ＬＡ・生野』ちくま新書。
高賛侑
　1993　『アメリカ・コリアタウン――マイノリティの中の在米コリアン』社会評論社。
李光奎
　1989　『在美韓国人――総体的接近』一潮社。
韓敬九
　1996　『世界의 韓民族（8）アジア・太平洋』統一院。
朴三石
　2002　『海外コリアン――パワーの源泉に迫る』中公新書。

本稿は，主として科学研究補助金・基盤研究B「グローバル化時代における海外コリアンのホスト社会への適応と葛藤」（研究代表者・朝倉敏夫）によって実施した調査に基づいている。

14朝倉.indd　240　　2007/04/18　8:54:02